

令和
3年度

議会報告会開催方法 変更のお知らせ



例年2月に開催しておりました議会報告会は、新型コロナウイルス感染症オミクロン株の急激な拡大のため、開催方法を変更して実施することに致しました。

議会として重要課題としてとらえている4つのテーマごとにグループを分け、これまでの書面での報告に加え、事前に動画を撮影し、インターネットにて配信をしております。

各グループ工夫を凝らして、わかりやすく動画を作成しました。右のQRコードからパソコンやスマートフォン等でお気軽にご覧いただきたいと思っております。

これからも創意工夫を重ね、コロナ禍に対応した議会報告会としていきますので皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い致します。



大木町公式
YouTubeチャンネル
QRコード

大木町議会議長 中島 和正

議員のなり手不足

①議員定数と町との関係

本町において統一地方選挙に伴い町議会議員の選挙が行われたが、過去2回無投票選挙である。無投票が良いのか投票が良いのか判断しにくいのではないかと？

	人口 (人)	面積 (km ²)	議員定数 (人)	議員一人当たりの 人口(人)	議員一人当たりの 面積(km ²)
全国町村議会平均			11	1,002	14.68
大木町	13,993	18.44	12	1,166	1.53
広川町	19,988	37.94	13	1,537	2.91
太刀洗町	15,529	22.83	12	1,294	1.90

②選挙年度における投票率

まずは「議員定数」と議員の活動量から議会活動の範囲を検討し、総活動量から定数を算出することで議会議員の資質の向上がなされるのではないかと？

	2019	2015	2011
大木町	無投票	61.38	無投票
広川町	59.14	60.33	70.16
太刀洗町	無投票	61.10	67.84

全国平均また近隣町村と比べたものです。

このような事を踏まえ、議会活動の将来像とその対価として定数・報酬の額を皆様と考え、議員の資質向上をさせ一概には言えないが少しでも「議員のなり手不足」の解消になるよう議論を重ねていきたい。

自治区移行

誰もが住み続けたいと思えるまちを目指して…

令和2年12月定例会 ※条例制定直前の定例会



質問

自治総合計画は自治組織への移行を前提として策定されるのか。
自治会長の権限や役割が増えるのではないか。
何故、今まで通り出来ないのか。担い手不足が加速しないか。
……

令和3年 第1回 3月定例会

- ①大木町自治総合計画条例の制定について (賛成11)
- ②大木町自治総合計画基本構想の策定について (賛成10:反対1)

議決

めざす町の姿

住民自治が育ち地域の力でまちづくりが推進されるまち

質疑

- ・自治会転換への必要性は何か。審議は本会議以降もあるのか。
- ・役員を増やし、会議を増やすことは人口減少社会に逆行していないか。
- ・組織の役員等具体的な内容を広報紙等で知らせてはどうか。
- ・自治会運営、打合せのオンライン化等による様々な方法で担い手不足を補ったらどうか。

……



令和3年7月19日 議会全員協議会にて説明を求める

令和3年 第6回12月定例会

質問

- ・進捗状況は。
- ・自治活動推進費に格差が生じないか。
- ・世帯数の差異により交付金や助成金の算定基準を見直す余地はないのか。

……



今後の議会の対応

1. 地域への丁寧な説明を行い、理解を得たうえで移行が遂行されているか。
2. 移行が困難な地域を置き去りにしていないか。
3. 自治活動推進費をはじめ、交付金、助成金等に地域格差が生じていないか。
4. 自治区移行に関する事業については、不確定要素が多いため予算編成に当たり議会説明を行うこと。



詳しくは、動画をご覧ください。

太陽光発電施設(マイクログリッド)計画

2019年12月に気候非常事態宣言を採択したことにより、町として2050年までに実質炭素排出ゼロを目指す目標が掲げられました。そのための調査が1000万円ほどの予算で2020年度に行われ、現在事業の詳細をつめるために1200万ほどの予算をかけて、策定案を外部に発注しているところです。予定では別会社を立ち上げ、町有地を貸します。

また、コンテナほどの蓄電池を設置し、役場周辺の電力消費量の2日分を蓄えます。議会では「みやまSE」「九州電力」「ひおき地域エネルギー」での勉強会を参考に、賛否を**激論中**です。

太陽光発電でも窓利用や、田んぼの上に設置したり、メタンガス発電など発電方法の検討が求められる。

徳永議員

これからの未来を考えると、こういった事業は必要になってくるのではないか!

益田議員

1/80しか脱炭素達成できないし、採算性に破棄・入れ替え費用が含まれていない!

馬場議員

重視すべきは計画自体の収支

益田議員

町は必要な太陽光発電パネルの設置率・発電量・スペースなど把握しているのか?

徳永議員

町が自由に使えるお金には限りがあるので、仮想脱炭素より現実問題の道・堀補修や子育て支援に使うべき!

馬場議員

大木町役場行政組織機構改革を検証中

令和3年度に施行された、役場組織機構の見直しが、町民サービス向上へと機能しているのか、議会として調査研究し、必要に応じて町執行部に提言します。

機構改革の概要(課の統廃合)

改革前

12課1局
議会事務局
会計課
総務課
企画課
環境課
税務町民課
こども未来課
健康課
福祉課
産業振興課
建設水道課
学校教育課
生涯学習課

組織機構を分かりやすく

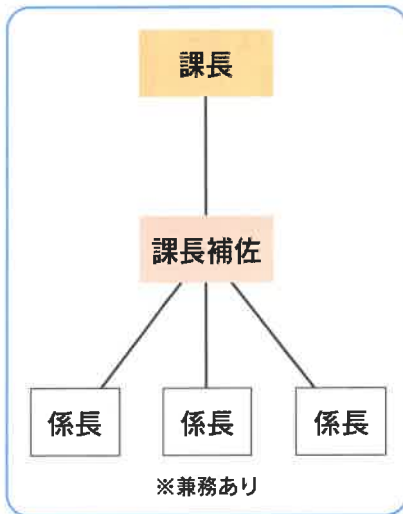
改革後

7課1局
議会事務局
税務町民課(会計課・税務町民課)
総務課
まちづくり課(企画課・環境課・生涯学習課)
建設水道課
産業振興課
健康福祉課(健康課・福祉課)
こども未来課(学校教育課・こども未来課)

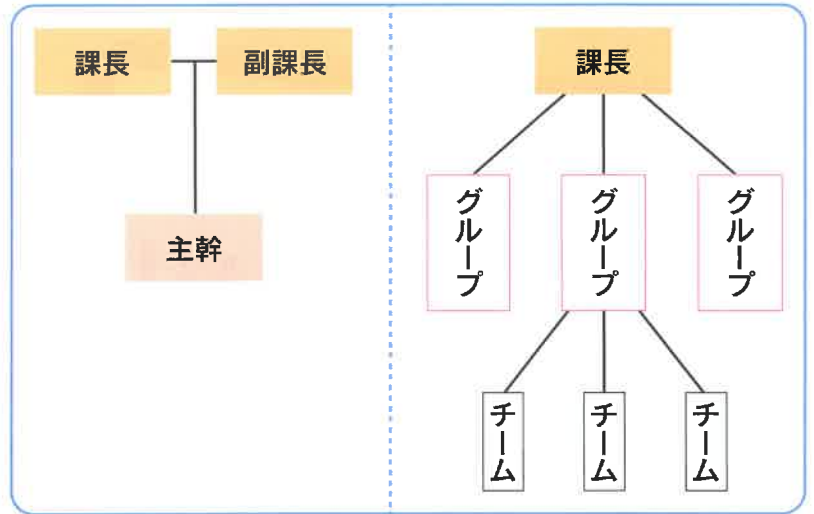
分かりやすくなりましたか

機構改革の概要(課長職等役職名の見直し)

改革前



改革後の組織イメージ



議会がなぜ検証するのか？検証の結果をいつどのような方法で得るのか

令和2年12月議会において、町長より提案された「大木町課設置条例の全部改正」の審議において、2時間30分を要した慎重審議の結果、**賛成多数で条例案を議決した責任**から検証するものです。また、新機構発足後に職員アンケートにより意見を徴したところ、新しい組織機構が従前よりも悪くなったとの残念な結果となったことは、発足後日が浅く職員に充分理解をされていないことも要因と考えられるが、町民サービスの向上を図るためには執行部、職員一丸となり邁進することこそが肝心であることから、更なる努力を執行部、職員に求めているところです。

そのことから、新しい機構組織となって約1年となる**2月中旬ごろに、再度職員アンケートを実施し、町民サービスの向上に向けた意識の変化を見極め、検証の結果を得たい**と計画しています。